

申請者	学科名	デザイン工学科	職名	教授	氏名	岩本弘光 印
調査研究課題	岡山県産材を利用した新しい木造建築の啓蒙・普及に関する研究					
交付決定額	¥300,000-					
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	岩本弘光	デザイン工学科・教授	建築意匠		
	分担者					
調査研究実績の概要  <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">                     地域貢献への反映を踏まえて記述のこと                 </div>	<p>「岡山県立大学同窓会館」の設計は、平成23年度から24年度の全国版建築専門誌の「新建築」、「日経アーキテクチュア」、「ディテール」各誌や、山陽新聞、木材新聞など新聞各紙に掲載され、岡山県産ヒノキ材を利用した新しい木造建築の可能性に全国の注目が寄せられた。</p> <p>本研究はこの新しい木造建築の設計手法、応用方法および施工技術を、岡山県下や全国の建築、林業関係者に啓蒙・普及して、岡山県産材のヒノキ材やスギ材を活かした生活環境の改善と、建築や林業の「産業育成」をもって地域貢献しようとするものである。</p> <p>また、サステナブル社会の実現を目的として国土交通省が定めた「公共建築物等木材利用促進法」の施策を、「岡山県立大学同窓会館」で実証した具体的な設計例をもって、この成果を岡山県下のみならず全国に向けて「情報発信」することによって、地域貢献を推進することを試みた。</p>					

こうした日本全国を対象とした効果的な啓蒙活動や地域貢献の方法は、「岡山県立大学同窓会館」の設計手法を公的第三者機関で評価を仰ぎ、研究の新規性、先進性、汎用性を岡山県下ならびに全国に広く啓蒙・周知することにある。

建築設計における公的評価方法は、日本建築学会、日本建築家協会、日本デザイン振興会などの公的評価機関による発表や作品顕彰制度への応募とその採択をもって行い、発表・採択された研究成果は、当該公的機関が発行する刊行物やウェブサイトへの掲載により木造新技術とデザインを岡山県下ならびに全国に広報して公開された。

応募実績と顕彰結果は以下の通りであり、当初計画通りの地域貢献を十分に果たすことができた。

応募名	名称	顕彰結果
1) 日本建築学会	日本建築学会作品賞	未採択
2) 日本建築学会	日本建築学会作品選集/選奨	未採択
3) 日本建築学会	平成 26 年度全国大会	建築デザイン発表会
4) 日本建築家協会	中国建築大賞	優秀賞
5) 日本デザイン振興会	グッドデザイン賞	グッドデザイン賞

調査研究実績の概要

地域貢献への反映を踏まえて記述のこと

なお、研究費不足により平成 26 年度に未応募であった以下の顕彰制度は、平成 27 年度に申請して更なる地域貢献を果たしたい。

1) 日本建築家協会	優秀建築作品賞/日本建築大賞
2) 日本建設業	BCS 賞

以上

成果資料目録

1) 日本建築学会	平成26年度全国大会建築デザイン発表会	梗概集
2) 日本デザイン振興会	グッドデザイン賞	ポスターセッション
3) 日本建築家協会	中国建築大賞 優秀賞	賞状
		賞状